



# 第11回堺市議会 議会報告会

令和4年1月30日（日）

# 第11回堺市議会 議会報告会

## 本日のスケジュール



	時 間	内 容
開会	13:00~ 13:10	開会のご挨拶（池尻秀樹議長） 進行スケジュールの説明（吉川敏文議会運営委員長）
第1部 議員による 議会報告	13:10~ 13:30	新型コロナウイルス感染症対策に関する 議会での議論などについて（西哲史議会運営副委員長）
第2部 議員との 懇談 (オンライン会議)	13:40~ 14:40	懇談テーマ「アフターコロナの堺のあり方について」 (参加者の皆様及び出席議員)
	14:50~ 15:10	総括発表（各テーブルのファシリテーター役の議員）
閉会	15:10~ 15:15	お礼の挨拶（池田克史副議長）

# 第1部 議員による議会報告

- ① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応
- ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論
- ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案）に関する議会での議論

# 第1部 議員による議会報告

① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案）に関する議会での議論

# ① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応

## 担当部局の負担軽減への協力

- 新型コロナウイルス感染症及びワクチン接種業務の担当所管には質問を控え業務に専念できるよう配慮
- 感染状況に応じて質問の時間を削減し会議時間の短縮
- 感染症に関する本市への要望等を議会として一元化

## 感染予防対策

- マスク着用、消毒の徹底、検温の実施や仕切り板の設置

# ① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応

## 堺市議会災害対策会議の設置

- 国の緊急事態宣言発出を受け、  
「堺市議会業務継続計画」（議会BCP）に基づき、
  - ・ 1月13日～3月 1日
  - ・ 4月25日～6月20日
  - ・ 8月 2日～9月30日の各期間に設置



# ① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応

## 新型コロナウイルス感染症対策強化に関する 本市独自政策等への充当のため、議会費予算を削減

令和3年度及び令和4年度の

- 議員報酬の5%減額
- 政務活動費の5%減額
- 議員の国内各都市への調査視察及び海外調査研究派遣の中止



令和3年度は  
議会費予算から5,000万円を削減

# 第1部 議会報告

① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応

② **新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論**

③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案）に関する議会での議論

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

# 令和3年度当初予算案における重点施策

1 **新型コロナウイルス感染症対策**  **最優先**

2 **セーフティネットを守り、地域経済を支える**

3 **将来の税源涵養に繋がる投資の呼び込み**

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

ワクチン接種を円滑に進めることができるかどうか、市民の命や健康はもちろん、市内の地域経済や社会活動に大きく影響すると考えている。



永藤市長

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

議員からの意見



新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて、ワクチン確保が何より重要であるが、万全を期して準備、実施に当たるとともに、市民には正確な情報を速やかに、あらゆる媒体をとおして広報されたい。

**賛成多数で可決**

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

### 5月定例会で提案された補正予算案の主な内容

- 新型コロナウイルス感染症に関する保健所の体制強化
- 保育施設における感染防止対策に要する経費や保育支援者を雇用する経費に対する補助
- 子育て世帯への生活支援特別給付金や緊急雇用促進支援金の支給、先端設備等導入に要する経費など、市民生活・地域経済活動への支援

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

### 議員からの意見



雇用促進支援金について、女性求職者を雇い入れた場合の上乗せ加算は特徴があると感じる。堺市独自の政策を本当に必要なところに思い切って進められたい。

保育体制の強化について、新型コロナウイルス感染症対策に係る業務が恒常的に増加しているため、今回の補正予算に示された内容については評価するが、このことをもって全てが補えるものではないため、歩みを止めることなく努力されたい。

**補正予算案を全会一致で可決**

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

### 8月定例会で提案された補正予算案の主な内容

- ワクチン接種に携わる医療機関や医療従事者への協力金の支給や接種予約受付等を行うコールセンター及び事務処理センターの増員等、新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備
- 令和3年中に出生した新生児1人につき3万円の給付金を支給する、堺市新生児世帯特別給付金の支給

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

### 11月定例会で提案された補正予算案の主な内容

- 新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目）のための体制確保
- 新型コロナウイルス感染症対策に係るPCR検査委託料及び入院医療負担の所要増
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給や、住民税非課税世帯、子育て世帯等に対する臨時特別給付金

**補正予算案を全会一致で可決**

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

# アフターコロナを見据えた議論

**観光施策**

**産業振興施策**

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

### 観光施策に関する 議員からの意見



コロナ禍で暮らしや経済が疲弊しているが、文化や観光は、こんなときだからこそ、心や体を癒やす大切なものである。コロナ感染の収束が見えてこない今だから、電車や乗り物に乗って出かけていくのではなく、地元を見直す、身近な観光、身近な文化財に目を向けることが非常に大事である。

今後、コロナ収束の見通しの中で適切に対応しなければ、観光の目的として堺は選んでももらえないといったことも考えられる。世界遺産や堺の歴史という観光資源の魅力はあったとしても、都市型観光の堺に来ていただく方の目的や観光意識を十分に把握をし、施策事業の実施をお願いします。

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

### 観光施策に関する 議員からの意見



観光戦略について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光需要は変化している。今後のコロナ収束の見通しの中で適切に対応し、2019年に世界文化遺産登録された百舌鳥古墳群や堺の歴史という観光資源の魅力を十分に楽しめる市内周遊など、堺のまちを快適に回遊できる観光施策に磨きをかけ、都市型観光の堺を選んでもらえる、さらなる施策・事業の実行を要望する。

## ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

世界は今、コロナと気候危機という2つの危機に直面している。こうした時代の転換期に立つ今こそ、持続可能で強靱な経済社会へとリデザイン（再設計）していかなければならない。

産業振興施策に関する  
議員からの意見

新たなビジネスの担い手の創出・育成へ向けたアクセラレーションプログラムなどのスタートアップ支援が本市の稼ぐ力となり、アフターコロナを見据えた産業振興にもなることから、起業するなら堺市でとの堺モデルを全国に発信されたい。また、コロナ禍で苦しむ市内事業者に寄り添った、どこまでも丁寧な支援を強く要望する。



# 第1部 議会報告

① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案）に関する議会での議論

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

#### ● 一般会計 決算

(単位：億円)

年度	歳入総額	歳出総額	差引	実質収支
R2	5,117.9	5,095.3	22.5	13.3
R1	4,208.5	4,181.7	26.7	13.3

- ・ 実質収支は13.3億円と、41年連続の黒字
- ・ すべての会計において、実質収支・資金剰余額は黒字を確保

※実質収支=歳入総額-歳出総額-翌年度に繰り越すべき財源

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

#### ● 健全化判断比率の指標

(単位：%)

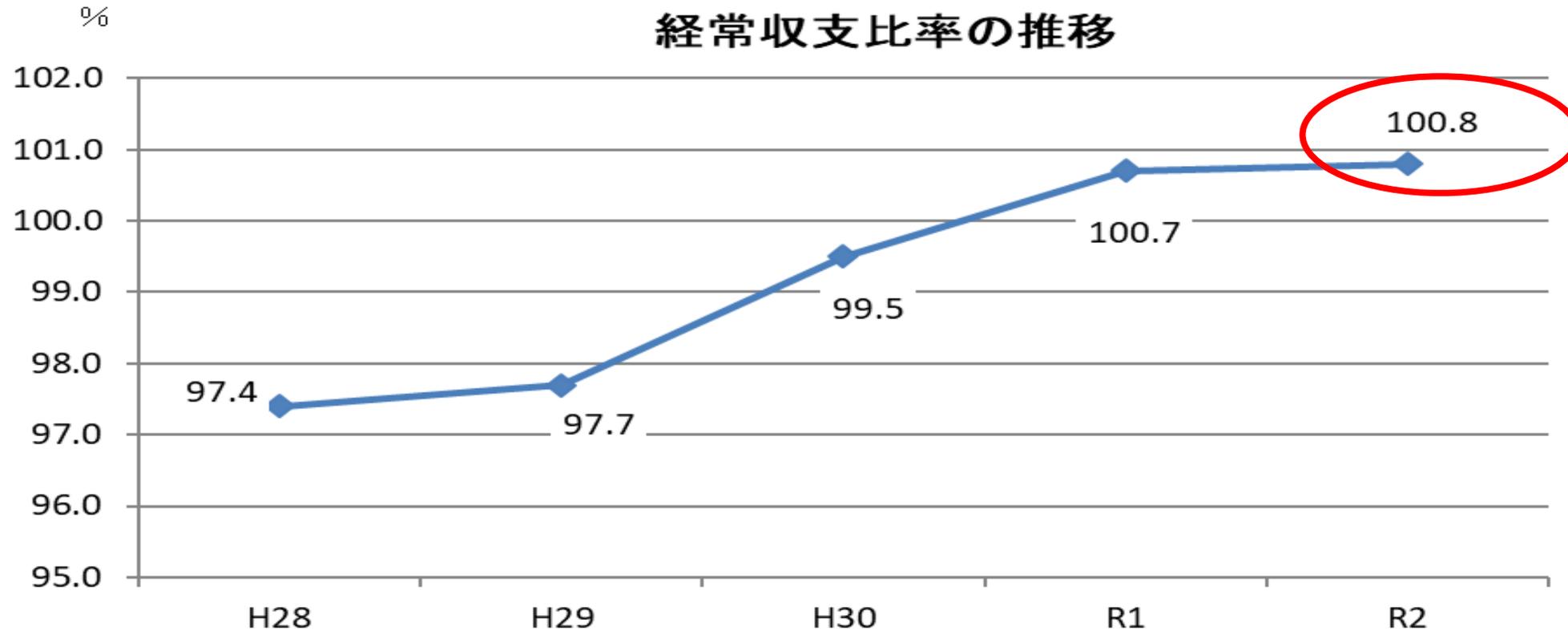
	実質公債費比率	将来負担比率
R2	5.8	5.0
R1	5.3	9.4
(参考) 早期健全化基準	25.00	400.00

※実質公債比率…市税収入などの市の財政規模に占める借入金の返済額の割合

※将来負担比率…市税収入などの市の財政規模に占める将来負担すべき負債額の割合

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## ● 経常収支比率



### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

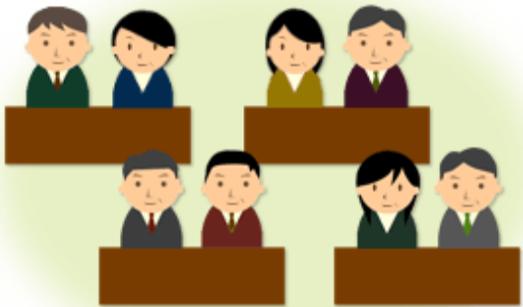
市民の皆様の命と暮らしを守り、市民の皆様が堺で安心して希望を感じながら暮らしていただけるように抜本的な改革を行い、基金依存から脱却した真に健全な財政を実現する。



永藤市長

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

#### 議員からの意見



コロナが追い打ちとなった本市の財政危機を持続可能な財政運営として次世代へ受け渡すべく、火中の栗を拾う覚悟で取り組む永藤市長の改革に議会としても全面的に協力すべき。

行財政改革は行政の構造改革や事業見直しなどを優先し、市民、議会と情報を共有し理解を得たうえで、財政危機脱却を推し進めていくことが肝要と考える。

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

#### 議員からの意見



本市財政は、経常収支比率以外の指標は、悲観し過ぎるべきものではない。あれもこれも一刻も早く削るのではなく、市民生活に必要なものと、その度合いの薄いもの、生活に影響しないものとの峻別し、議会や市民との合意形成を丁寧に図りながら、不断の改革を進められたい。

**令和2年度各会計決算を賛成多数で可決及び認定**

# 第1部 議会報告

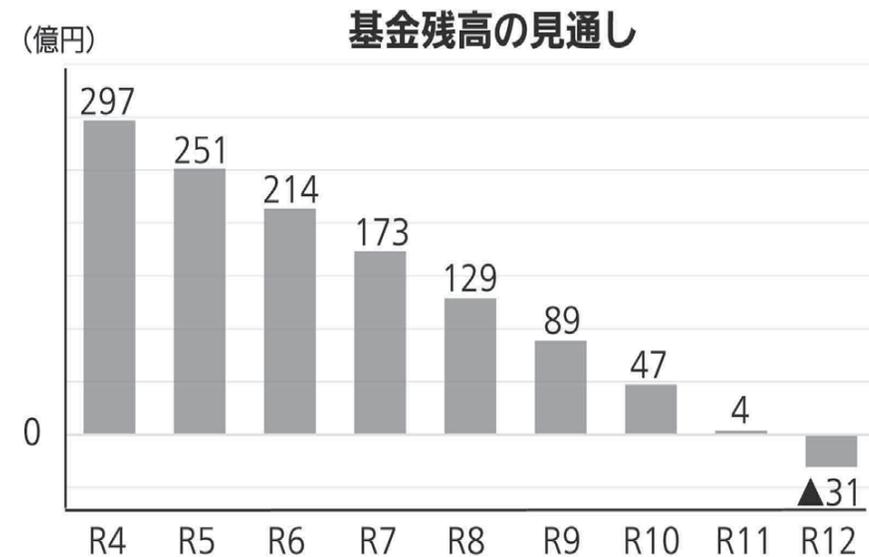
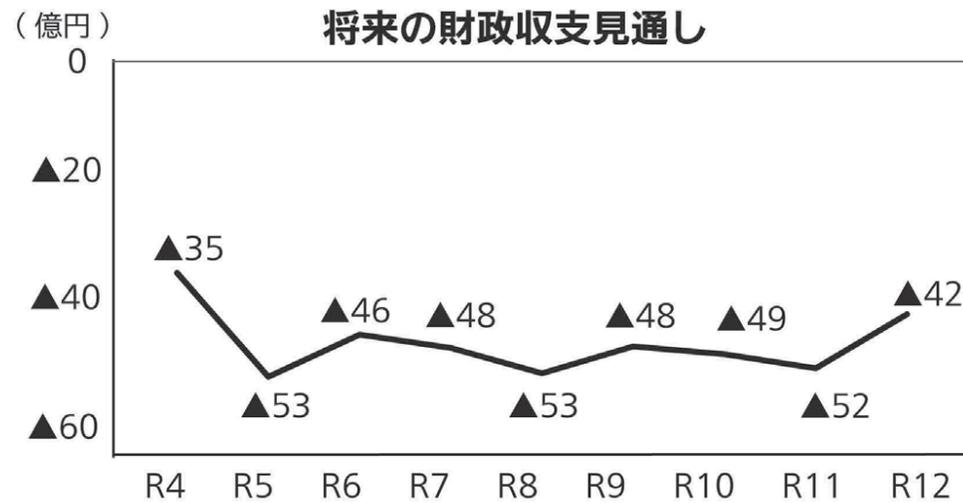
① 議会における新型コロナウイルス感染症への対応

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案）に関する議会での議論

# ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 市の中長期的な財政収支見通し



### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 財政危機宣言

堺市では、長い間、「財政は健全」と発信してきました。

しかし、実際には平成28年度以降、恒常的な収支不足が発生し、それに対応するために基金を取り崩して財政運営を行っています。さらにこの間、将来の収支見通しを改訂することなく、収支不足が見込まれている状況にも関わらず、市独自の住民サービスを拡充し、新しい公共施設を次々と整備してきました。

それらの結果として、本市の財政は新たな行政需要に対応する余力がないだけでなく、基金も近い将来に底をつく見込みです。

現在の状況では、感染症や災害などの不測の事態が起こった時に必要な対応や支援を機動的に行うことができません。

このため、ここに「財政危機」を宣言し、市民の皆様への命と暮らしを守り、将来世代に対する責任を果たすため、抜本的な改革を集中して実施します。

そして収支均衡をめざし、基金依存から脱却する「真に健全な財政」を実現します。

市民の皆様におかれましては、財政危機を乗り越え、夢と希望が持てる、魅力ある堺の未来のために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年2月8日堺市長永藤英機

③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案）  
に関する議会での議論

## 財政危機脱却プラン

令和3年 2月 財政危機宣言

令和3年 8月 財政危機脱却プラン（素案）

令和3年10月 財政危機脱却プラン（案）

# ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案）に関する議会での議論

財政危機脱却プラン（案）

8 特集

：さかい

令和3(2021)年11月1日

堺市財政危機脱却プラン

## 未来を創る 集中改革

危機的な財政状況から脱却し、夢と希望が持てる、魅力ある堺の未来を創るため、堺市財政危機脱却プラン（案）を取りまとめました。  
 □ 市政集中改革室（☎228-7015 階228-1303）

堺市の財政の今 → 「すぐに破綻はしませんが、このままでは未来が創れません」

### 健全化判断比率

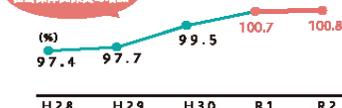
少子化の財政破綻をきっかけに取られた、財政健全度を未然に防ぐための財政指標です。



これらの指標は基準を下回っていますが、十分な行政サービスを提供できる財源があることを示すものではありません。

### 経常収支比率

毎年常に支払わなくてはならないお金（市税などの毎年帯に入ってくるお金）に占める割合です。この割合が100に近づくほど、お金の余裕がなくなります。



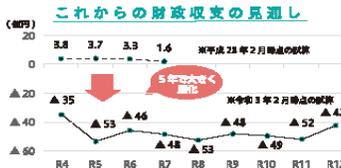
市では100%を超えており、毎年常に支払うお金が市税などの収入で賄えています。不測の事態や新たな行政課題への対応が難しくなります。

### 今まで何をしていたの？

- 計画の見直し**
- ・初期費用 65 億円
  - ・運営費用 4 億円
- 百舌鳥古墳群ガイダンス施設計画を中止
  - 泉ヶ丘公園用地取得の方法を見直し（府から所蔵譲渡）
  - 児童自立支援施設基本計画を中止

- 事業の見直し**
- ・初期費用など 18 億円
  - ・運営費用など 43 億円
- 堺市政策研究所を解散
  - ケーブルテレビ番組「堺シティ派」を廃止
  - 当初予算編成過程での経費を見直し など

### このままだとどうなるの？



財政収支見直しは平成28年以降、令和2年まで更新されてきていませんでした。（※令和2年度以降は毎年お示ししています。）この間、市独自のサービスの拡充や社会保障費の増加などにより収支不足が深刻化しています。令和元・2年度に計画・事業の大規模な見直しを断行しても令和3年2月の決算では毎年度40～50億円程度の収支不足が続く見通しです。

貯金を取り崩すことなく  
収支の均衡を保つために



：さかい

特集 9

## 堺市財政危機脱却プラン（案）

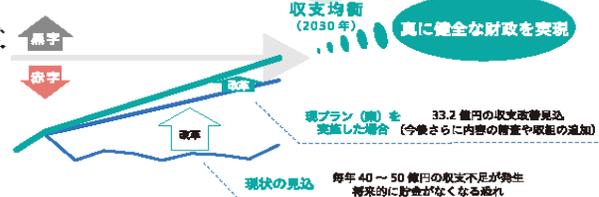
- 目標 令和12年度までに収支不足を解消し、収入と支出の均衡を回復します
- 集中改革期間 令和3・4年度の集中改革期間中に目標達成の道筋をつけます

支出を減らす		収入を増やす	
公共投資の選択と集中	公共施設やインフラの新設・更新などに要する総コストを2割削減	住宅供給の促進	鉄道駅周辺の都市型住宅の供給や大規模団地などの開発促進
公共施設のマネジメント	日高少年自然の家等の閉止、町家歴史館3館への指定管理者制度の導入など	企業圏域の促進	都心・中百舌鳥地区などで、エリアの特色に合わせた事業計画を推進
外郭団体の見直し	堺市産業振興センターと堺市労働者福祉サービスセンターの統合など	民間開発の誘導	市街化調整区域から市街化区域への転入や幹線道路への産業立地の誘導
イベント・補助金など市独自事業の見直し	おでかけ志願制度の対象年齢の見直しと高齢者の健康増進策の充実 コミュニティサイクル事業の終了とシェアサイクルの本格実施など		
人件費等の抑制	秋市トップクラスのスリムな職員体制（令和3年度比で職員数を4%強度削減）など		

### 将来の収支予測（イメージ）

「集中改革」期間内に収支目標の通知などを行い、目標達成の道筋をつけます。

### プランの実行



### めざす堺の未来像

今後の市政運営の大きな方針を示す「堺市基本計画2025」（QRコード）では、2025年までの目標としての成長圏域と本市がめざす都市像を示しています。将来にわたり成長しつづけるため、人や投資を呼び込み、税収など「稼ぐ力」をつけ、持続可能な都市経営を実現します。

### 2025年までの目標（例）

- 前期高齢者の要支援認定率 2.83%(R1) → 2.30%
- 学力調査の堺市の平均値（全国を100とする）  
小学6年生:100.5、中学3年生:95.8(R1) → 小学6年生:103.0、中学3年生:100.0
- 歴史ある水辺を観光活用するベイエリア
- 新たな交通システムで堺市魅力を創出（例・モビリティ・インベーション）
- 世界遺産の魅力を伝え、観光にも引き継ぐ大仏公園エリア
- 新しいライフスタイルを生み出す最先端ニュータウン

ご意見 募集します！  
子どもたちや将来世代に負託を先送ることなく、明るい未来をつくるため、責任をもって改革に取り組む「堺市財政危機脱却プラン（案）」について、皆さんからのご意見を募集しています（11月18日まで）。詳しくは堺市（区）税務所政策センター（コーナー）などにある資料がホームページ（QRコード）をご覧ください。

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

#### 堺市おでかけ応援利用者証条例の一部を改正する条例

- 対象年齢を70歳以上に見直し
- 令和4年度から令和12年度までの間は経過措置として、2年ごとに対象年齢を1歳ずつ段階的に引き上げる

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 堺市おでかけ応援利用者証条例の一部を改正する条例

### 委員からの意見



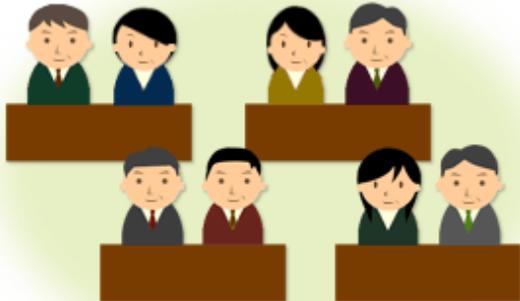
健康増進施策をわずかでも後退させる事は、将来の更なる超高齢社会を乗り越える上でも懸念される。高齢者の健康増進や健康寿命延伸のためには、できるだけ早い段階から取り組む必要があり、財政上の課題の一面だけを捉えるべきではない。

市長も制度のさらなる拡充を考えていたと思うが、危機的な財政状況を立て直していく上で、あらゆる事業の見直しを行い、制度を継続していくためには、やむを得ず対象年齢を見直すことを決断されたと考える。

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 堺市おでかけ応援利用者証条例の一部を改正する条例

### 委員からの意見



事業の取捨選択 をせざるを得ないときに、エビデンス（根拠）も大事だが、市民の思いに寄り添うという面も大切にしなければならない。

**建設委員会と本会議において、起立少数で否決**

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 堺市立日高少年自然の家条例を廃止する条例

### 廃止の主な理由

- 東日本大震災以降、利用者が減少
- 施設の老朽化に伴い維持管理に係る費用が増加

### 健康福祉委員会

「閉会中の継続審査」とする動議が起立多数で可決

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 堺市立日高少年自然の家条例を廃止する条例

### 本会議

本議案を「閉会中の継続審査」とすることを起立少数で否決



健康福祉委員会の審査を

令和4年1月12日までに終わるよう期限を付すことを決定

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 堺市立日高少年自然の家条例を廃止する条例

健康福祉委員会



堺市における 教育の歴史が深く刻まれた市民の貴重な財産を、調査及び取組み不十分な状態で廃止してはならない。

当施設の存廃 に関しては、子どもの育成にとってどうかという視点で議論すべきであり、財政を判断基準にすべきではない。

**起立少数で否決**

### ③ 令和2年度決算及び財政危機脱却プラン（案） に関する議会での議論

## 堺市立日高少年自然の家条例を廃止する条例

本会議



厳しい財政状況の中で、市民の利用者が減少し、市外の方が多く利用している施設に本市が財政支出をし続ける余裕はない上、青少年の健全育成を図るためにこの施設を継続しなくても代替施設で確保できるなど、影響は限定的である。

**起立多数で可決**

# 第1部 議会報告

ご清聴ありがとうございました。





# 第11回堺市議会 議会報告会

令和4年1月30日（日）